

短期留学 共通事項

短期留学参加者は、国際交流センターが実施する「危機管理セミナー」への出席（P.105参照）や、本学指定の海外旅行保険への加入（P.106参照）が義務付けられています。その他、遵守すべき事項を定めた誓約書を提出してください。なお、参加申込者が定員より大幅に少なかった場合、または研修先機関の都合等により、やむを得ず研修が中止となることもあります。本学が危険と判断する事態（戦争、テロ、新型インフルエンザ等の感染症流行など）が発生した場合も、研修の中止や研修期間の短縮またはコース変更を行うことがあります。

※参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じても、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、十分に留意してください。

■ 単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.31からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず事前に教務課の各学部窓口で確認してください。



ホームステイを伴うプログラムについて

以下をよく理解の上、参加申込みをしてください。

1. ホストファミリーの家庭環境は各々差があります。
ホストファミリーのライフスタイルや家族構成（高齢の夫婦のみの家庭、母子家庭、小さな子どもがいる家庭、同世代の異性の子どもがいる家庭、共働きの家庭、一人暮らしの方等）、人種・民族、文化、食事（ホストファミリーの手作り、冷凍食品、参加者自身による自炊等）、ペットの有無、設備、通学距離・方法等は、滞在する家庭によって異なります。
2. ホームステイ申込書等で、家庭環境（子どもやペットの有無等）の希望を記載できる場合も、必ずしも希望どおりになるわけではありません。
3. 他の日本人や、同じプログラムに参加する本学の学生、他国からの学生と同じホームステイ先になる場合があります。ホストファミリーに限らず、留学先で知り合う人たちとは、心を開いて人間関係を築く努力をしましょう。人とのつながりから学べることはたくさんあります。
4. 「ゲスト（お客様）」として滞在するのではなく、家族の一員として、滞在中はハウスルール（家庭内の規則）を守り、感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう。
5. 出発前、プログラム参加中に、参加者の一方的な希望による滞在先の変更はできません。
ただし、ホストファミリー側のやむを得ない諸事情（不慮の出来事、病気等）により、ホームステイ先が現地手配側により変更される場合があります。


短期協定校留学


「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」その他必要な書類を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。上記の書類の提出をもって申込手続き完了となりますが、申込者が定員を超過した場合は選考を行うことがあります。「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター>留学支援>留学関連提出書類>短期留学参加申込書類>短期協定校留学からダウンロードしてください。なお、次ページ以降に記載のプログラム日程・費用等は、変更になる場合があります。


※短期協定校留学はすべて4単位認定プログラムとして実施します。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。





夏季プログラム


夏 季 ド イ ッ チ 語	研修先大学	ハレ=ヴィッテンベルク大学（ドイツ）		
	クラスのレベル	初級～上級		
	1クラスの最大人数	12名		
	本学での募集人数	15名（2023年度参加実績15名）		
	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）		
	教室内の授業	週5日 9：00～12：15／13：00～14：30／土曜日 エクスカーション		
	授業科目	総合的なドイツ語授業、ドイツ事情、小グループでのテーマに沿ったプレゼンテーション		
	エクスカーション	3日間のミュンヘン研修、ベルリンおよびライプツィヒへの日帰り観光、ヴィッテンベルク市内観光等。エクスカーションは、土曜日に行われます（最終週のみ水曜日）。		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約69万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、エクスカーション費、ミュンヘン研修費、海外旅行保険料、研修期間中の食費（朝・夕）、燃油サーチャージ等を含む）			
研 修 期 間	2024年8月3日（土）～9月2日（月）（31日間）			
	8月 3日（土）	羽田発		
	8月 4日（日）	フランクフルト経由ベルリン着、ヴィッテンベルクへ		
	8月 5日（月） ～8月28日（水）	ハレ=ヴィッテンベルク大学でのドイツ語研修（ホームステイ）		
	8月29日（木）	ヴィッテンベルクからベルリンへ。空路でミュンヘンへ移動。ミュンヘン研修（3泊）		
	9月 1日（日）	ミュンヘン発（機内泊）		
	9月 2日（月）	羽田着		
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。			

夏 季 英 語	研修先大学	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校（アメリカ）		
	クラスのレベル	初級～中級		
	1クラスの最大人数	10～15名		
	本学での募集人数	12～30名（2019年度参加実績14名）		
	宿泊形態	学生寮、ホームステイ他		
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）		
	教室内の授業	週5日 8：00～12：00／13：00～14：30		
	授業科目	会話、スピーチ、読解、作文等レベル別クラス。各自のテーマに沿ったプレゼンテーション、ディスカッション。		
	エクスカーション	カヌー体験、ピクニック、キャンプファイヤー、チーズ工場見学等（予定）		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約86万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、海外旅行保険料、研修期間中の食費、燃油サーチャージ等を含む）			
研 修 期 間	2024年8月4日（日）～8月25日（日）（22日間）			
	8月 4日（日）	羽田発、シカゴ経由ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校着		
	8月 5日（月） ～8月23日（金）	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校での英語研修（大学寮泊＋ホームステイ他）		
	8月24日（土）	スティーブンス・ポイントからシカゴへ移動、シカゴ発		
	8月25日（日）	羽田着		
その他	他国の学生が参加する場合があります。			

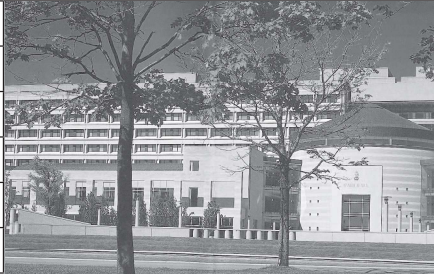
夏 季	研修先大学	レジャイナ大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	プレイスメントテストによりクラス分け		
	1クラスの最大人数	15名程度		
英 語	本学での募集人数	15~30名 (2023年度参加実績26名)		
	宿泊形態	学生寮		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 8:30~11:30/12:30~15:30		
	授業科目	総合的な英語力アップのための集中授業。レジャイナ大学学生との交流アクティビティ等。		
	エクスカーション	ロイヤル・サスカチュワン博物館、カナダ連邦騎馬警察歴史博物館、フェネック農場、乗馬体験等		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約82万円 (往復航空運賃、宿泊費、講習費、エクスカーション費、海外旅行保険料、研修期間中の食事 (朝・昼・夕)、燃油サーチャージを含む)			
研 修 期 間	2024年8月4日(日)~8月25日(日) (22日間)			
	8月 4日(日)	成田発、カルガリー経由レジャイナ着		
	8月 5日(月) ~23日(金)	レジャイナ大学での英語研修		
	8月24日(土)	レジャイナ発カルガリー経由成田へ		
	8月25日(日)	成田着		
そ の 他	レジャイナ大学とは2020年に学術交流協定を締結。2021・2022年度はオンラインによる短期プログラム、2023年度は渡航プログラムを実施。他大学学生の参加あり。			


夏 季	研修先大学	フランシュ・コンテ大学 (CLA) (フランス)		
	クラスのレベル	入門~上級までの5段階		
	1クラスの最大人数	15名程度		
フ ラ ン ス 語	本学での募集人数	15~25名 (2023年度参加実績14名※)		
	宿泊形態	学生寮 (個室)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00~11:00/13:00~16:00 *曜日により異なる (週25時間)		
	授業科目	会話、読解、発音、聞き取り、文法、作文などの総合的なフランス語の授業を中心に、フランスの文化、文明についての講座、校外学習もあります。		
	エクスカーション	ブザンソン周辺地域の文化に触れる小旅行等 任意参加、料金別途現地支払い		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約62万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む) *エクスカーションの費用、食費は含まれていません。			
研 修 期 間	2024年8月3日(土)~9月1日(日) (30日間)			
	8月 3日(土)	羽田発		
	8月 4日(日)	イスタンブール経由ジュネーブ着、ブザンソンへ		
	8月 5日(月) ~8月30日(金)	フランシュ・コンテ大学でのフランス語研修 (フランシュ・コンテ大学学生寮)		
	8月31日(土)	ブザンソンからジュネーブへ		
	9月 1日(日)	イスタンブール経由で羽田着		
そ の 他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。 ※2023年度はブルゴーニュ大学 (CIEF) で実施			

夏季	研修先大学	東呉大学（台湾）		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	12～15名程度			
本学での募集人数	8～15名（2018年度参加実績9名）			
中国語	宿泊形態	学生寮（4人部屋）		
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）		
	教室内の授業	週4～5日 9：00～12：00／13：00～16：00（週により異なる）		
	授業科目	語学課程（聴解・会話・読解・作文など）、文化課程（歴史・芸術・人文・伝統芸能など）		
	エクスカージョン	宜蘭（ラフティングと葱油餅作り体験）、台北（故宮博物館）、台北（ケーキ博物館でのパイナップルケーキ作り体験）（予定）		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約41万円（往復航空運賃、宿泊費、研修費（校外学習含む）、海外旅行保険料、平日の朝食・昼食、燃油サーチャージを含む）		
	研修期間	2024年8月4日（日）～8月24日（土）（21日間）（予定）		
		8月4日（日）	羽田発、台北（松山）着	
		8月5日（月）～8月23日（金）	東呉大学での中国語研修（学生寮）	
		8月24日（土）	台北（松山）発、羽田着	
	その他	東呉大学附属の中国語研修機関である華語教学中心で開講される夏季研修で、午前の語学課程、午後の文化課程、そして校外学習の3つを軸にしたプログラムです。		

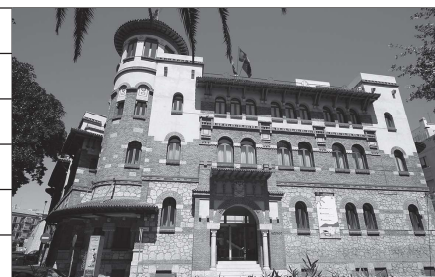
夏季	研修先大学	慶熙（キョンヒ）大学（韓国）		
	クラスのレベル	初級～上級		
1クラスの最大人数	15～20名			
本学での募集人数	8～19名（2023年度参加実績10名）			
韓国語	宿泊形態	民間宿泊施設		
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）		
	教室内の授業	週5日 9：00～12：50		
	授業科目	韓国語授業（文法、スピーキングなど）、文化体験（詳細未定）、慶熙大生との交流会、会話特別講座		
	エクスカージョン	日帰り旅行2日（詳細未定）		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約41万円（往復航空運賃、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージを含む）		
	研修期間	2024年8月4日（日）～8月27日（火）（24日間）（予定）		
		8月4日（日）	羽田発、ソウル（金浦）着	
		8月5日（月）～8月26日（月）	慶熙大学での韓国語研修	
		8月27日（火）	ソウル（金浦）発、羽田着	
	その他	ソウル市北東部の比較的落ち着いた地域に位置しています。ヨーロッパの歴史的建造物を思わせる建物が並ぶ美しいキャンパスです。韓国語の授業の質にも定評があります。一般向けに行われる授業のほかに獨協大生のための会話特別講座を組み合わせたカリキュラムで、短期間で韓国語力の向上を目指します。		

春季プログラム

春季	研修先大学	ヨーク大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	15～20名			
本学での募集人数	15～30名 (2023年度参加実績26名)			
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
教室内の授業	週5日 10:00～12:00/13:15～15:00			
授業科目	リスニング、スピーキング、文法、発音、カナダの歴史・地理・多文化主義等に関する講義・ディスカッション等			
エクスカーション	ナイアガラの滝見学、CN Tower、水族館ツアー、ホッケー観戦等			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2023年度は約78万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカーション費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む)			
研修期間	2025年2月16日(日)～3月9日(日) (22日間) (予定)			
	2月16日(日)	羽田発、トロント着 (ホストファミリー宅へ)		
	2月18日(火) ～3月7日(金)	ヨーク大学での英語研修 (ホームステイ)		
	3月8日(土)	トロント発		
	3月9日(日)	羽田着		
その他	大学付属の英語研修機関YUELIで開講されているSpring Break Immersion Program。他大学学生の参加あり。			

春季	研修先大学	ウーロンゴン大学 (オーストラリア)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	15名			
本学での募集人数	15～30名 (2023年度参加実績30名)			
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
教室内の授業	週5日 8:30～12:30または13:30～17:30 (クラス別で異なる)			
授業科目	会話、読解、作文等。各国からの学生とグループディスカッションやプレゼンテーションを通しての学習。			
エクスカーション	シドニー1日ツアー、アクティビティ (水族館、ブルーマウンテンズ、オーガニックファーム、アボリジナルアート体験、老人ホーム訪問等)			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2023年度は約76万円。往復航空運賃、団体行動中の交通費、ホームステイ費、講習費、教材費、エクスカーション費、海外旅行保険料、研修期間中の食費 (一部を除く)、燃油サーチャージ等を含む)			
研修期間	2025年2月22日(土)～3月23日(日) (30日間) (予定)			
	2月22日(土)	羽田発		
	2月23日(日)	シドニー着、ウーロンゴン大学へ		
	2月24日(月) ～3月21日(金)	ウーロンゴン大学での英語研修 (ホームステイ)		
	3月22日(土)	研修終了後シドニーへ移動。シドニー市内自由行動		
	3月23日(日)	シドニー発、羽田着		
その他	留学生を対象とした大学付属の英語研修機関で開講されているクラスで、レベル別に分かれて学びます。			

春季	研修先大学	マラガ大学附属語学学校CIE (スペイン)		
	クラスのレベル	初級～上級まで11段階		
	1クラスの最大人数	8～10名程度		
	本学での募集人数	10～15名 (2023年度参加実績9名)		
	宿泊形態	ホームステイ		
スペイン語	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	月～金 9:00～13:00		
	授業科目	文法、会話、読解、作文等		
	エクスカージョン	グラナダ研修 (2023年度実績)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2023年度は約64万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカージョン費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む)		
	研修期間	2025年3月1日(土)～3月30日(日) (30日間) (予定)		
		3月1日(土)	羽田発	
		3月2日(日)	マラガ着 (ホストファミリー宅へ)	
		3月3日(月) ～3月28日(金)	CIEでのスペイン語研修 (ホームステイ)	
		3月29日(土)	マラガ発	
		3月30日(日)	羽田着	
	その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。		





短期協定校留学体験記

春季

スペイン語研修

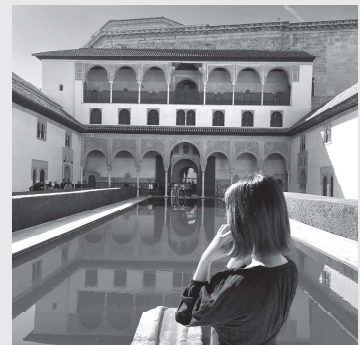
マラガ大学

2022年度 プログラム参加

言語文化学科 O. N.

私がスペイン語研修に参加しようと思った理由は、スペインの文化を肌で感じたいと思ったことと、英語と第二外国語で学んでいるスペイン語のどちらも上達させたいと思ったからです。

スペインに行ってみて一番感じたのは、陽気で気さくな国民性です。例えば一人でバスに乗っていた時、隣に座っていたおじいさんが急に話しかけてきて孫自慢を始めたり、カフェのトイレが空くのを待っていたら、知らない女性が急に冗談を言ってきたりと、日本ではあまり考えられないことが日常茶飯事でありました。スペインでは誰にでも気さくに話しかけてくれる人が多いので、そのたびにもっと話せるようになりたいと思いました。また、同じ寮に住んでいたマラガ大学の学生もフレンドリーな人が多く、日本のことや大学のこと、趣味についてたくさん質問をしてくれました。



語学学校では、会話に重点を置いた授業が行われます。2週目くらいになると、授業の始まりに、前日のことや週末に行った場所などについて簡単に説明する時間がありました。最初は語彙も乏しく、文法でも曖昧な点が多かったため、全然話すことができませんでした。何度も繰り返すうちに使える単語が増え、最後の週になると自分の感情まで表現できるようになりました。クラスメイトには、ドイツ人、アメリカ人、カナダ人、ポーランド人などがいて、授業時間以外は英語を用いてコミュニケーションをとっていました。

マラガはとてものどかで、親切な人が多く、食べ物もおいしい素敵な場所です。勉強するにはもちろんですが、スペインの文化を学ぶのにも最適な場所だと思います。かの有名なピカソはマラガ出身の画家であるため、マラガにはピカソゆかりの名所がいくつかあります。また、アンダルシア地方独特のヨーロッパとイスラムが融合した文化も肌で感じることができます。

スペインでの1ヶ月は、楽しいことばかりではなく、時には不安になることもありました。それ以上に人として成長し、異文化交流の楽しさを実感することができました。少しでもスペインの文化に興味がある人、スペイン語を上達させたい人は、ぜひマラガ大学の短期留学に挑戦してほしいと思います。

夏季

英語研修

レジャイナ大学

2023年度 プログラム参加

英語学科 Y. M.

英語のスキルアップを目指したかったのと、異国の文化を実際に体験したくて、レジャイナ大学への短期留学を決めました。今まで海外に行った経験がなかったので、日本を出発するときは期待よりも不安のほうが大きかったのですが、いざカナダに着いてみると新しい経験ばかりで、非常に刺激的で有意義な時間を過ごすことができました。また多くのことを学ぶことができました。



平日は午前と午後教室で授業を受け、週末は博物館や農場、屋内のレジャー施設などで課外活動を行いました。クラスの授業では、スキルアップのための会話練習やプレゼンテーションを行ったほか、カナダの歴史や人気のスポーツ、政治体制などについても学びました。また、授業中にカナダの先住民の文化や生活を紹介する施設に足を運ぶこともありました。他の大学からの参加者とはもちろん、韓国や中国、英国といった国籍の異なる人たちとの交流も活発に行いました。コミュニケーションは全て英語だったので、慣れない中大変でしたが、なんとか意思を伝えられるよう努力しました。日本では英語でコミュニケーションをとる機会が少なかったため、最初は相手が言ったことを理解することや、自分の気持ちを表現することがかなり難しく感じましたが、最終的にはお互いに英語でコミュニケーションをとることができるようになりました。その達成感は非常に大きかったです。

また、私が留学に行くにあたって最も懸念していたことは、アジア人差別やスリ、窃盗などの犯罪です。最初は大学内でも、街中に出る際もかなり警戒して行動していましたが、カナダがそもそも多文化社会であることや、レジャイナ大学が差別的な言動を許さないスタンスを明確にしていたこともあり、そうした経験をすることはありませんでした。むしろカナダの人はとても親切で、写真撮影に快く応じてくれたり、道を尋ねても丁寧に答えてくれたりと、困ったときに優しく接してくれる人がほとんどでした。街中でバスを待っているときに、走行中の車から顔を出して、「そこバス停じゃないよ！」と教えてくれて、道案内までしてもらったこともありました。日本では考えられないような経験だと驚きました。

3週間という非常に短い期間の研修でしたが、日本との文化の違いを実際に体験し、その後の学習に対するやる気あがり、帰国後の大学生活に大きな影響を与えてくれました。海外でしか経験できないことはたくさんあります。自分の世界を広げるためにも、ぜひ留学を考えてみてはいかがでしょうか？